

質 疑 回 答 書

令和 2年 8月20日

工事名称: 佐賀大学(鍋島1)動物・RI実験施設改修その他機械設備工事

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
1	M-038	冷媒回収破壊がありますが、冷媒の種類と回収量をご指示願います。	R-22が106.4kgです。
2	—	撤去工事における、有価材の数量をご指示願います。	(屋内)鉄類14,160kg、銅30kg (屋外)鉄類1893kg、ステンレス7,890kg です。
3	—	RI関連設備の撤去において、放射能の検査及び除去作業は別途工事と考えて宜しいですか？ ご指示願います。	別途工事です。
4	M-027	RI排水処理槽の前置槽土木躯体工事、貯留槽廻り基礎工事は、撤去、新設とも別途工事と考えて宜しいでしょうか。	その通りです。
5	M-60,M-64	《図番 M-060》平面図では男子便所が撤去対象になっておりますが《図番 M-064》の器具リストでは工事対象外になっております。数量表にも含まれていません。ご指示ください。	室内の器具は撤去済みであり、床下配管のみ撤去対象です。
6	M-23,M-24	別紙明細 P9 プルボックスについてSS製 0. 2㎡未満1. 28㎡、塗装0. 32㎡内訳書に記載ありますが、図面では確認出来ません。(国) ET付 平蓋 鋼板製 指定色塗装で宜しいでしょうか。また具体的な寸法はありますか。	DC,SC用のプルボックスです。(図面記載あり) 仕様はその通りです。サイズは200×200×100です。
7	全般	放射線照射室を除く天井はすべて解体、新設するものと考えて宜しいでしょうか。機械設備工事に伴う天井解体、復旧は全て建築工事と考えてよろしいでしょうか。	その通りです。
8	全般	設備撤去に伴う天井解体は、図面に記載がないため全て建築工事にて対応と考えて宜しいでしょうか。	その通りです。
9	M-012,013,014	外壁、スラブ、階段室の躯体は既存のままと考えていますが、その他の1階放射線照射室、処置室、培養室、RI貯蔵室を除く間仕切り壁は、全て建築にて撤去と考えて宜しいでしょうか。 (M-012,013,014のダクト図より推測) X5より西側との建物間は吹き抜け床無し(作業デッキ無し)と考えて宜しいでしょうか。	その通りです。

質 疑 回 答 書

令和 2年 8月20日

工事名称: 佐賀大学(鍋島1)動物・RI実験施設改修その他機械設備工事

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
10	全般	既設建築資材、設備材料は石綿を含む素材は使用していないと考えて宜しいでしょうか。 (ご指示が無ければ本工事について、調査を含む石綿除去に関する費用は別途とします)	既設建築資材には、石綿を含む材料があるが別途建築工事にて撤去します。 本工事において撤去する設備に石綿を含む素材はありません。
11	特-001,002	特記仕様にて外気ダクトは保温あり(図示による)とありますが、平面図に記載がありません。 外気取入れダクトは機械室内、DS内は保温無し、居室天井内は保温ありと考えて宜しいでしょうか。(ロスナイ系統含む)	空調設備外気ダクトの保温はOAC-1から給気ガラリまでが対象です。換気設備は特記仕様書のとおり保温は不要です。
12	特-002	排水設備の満水試験継手は2階建て建物につき不要と考えて宜しいでしょうか。	その通りです。
13	特-003	工事区分表のコンクリートの穴あけ項目で200φ以上は建築工事と記載がありますが、200φ未満のコア抜き開口は設備工事範囲と考えて宜しいでしょうか。 (ダクト平面図では「新設壁開口 300φ」等の記載あります)	すべて本工事です。
14	特-003	躯体開口部の構造体補強(鉄筋切断時)は建築工事と考えて宜しいでしょうか。	その通りです。
15	特-003,M-012,013,014	ダクト平面図記載の既設壁及び床開口利用時の開口部の穴埋め(200φ以上)は特記仕様書に従い建築工事と考えて宜しいでしょうか。 既設ダクト、配管撤去後の躯体開口部穴埋めは建築工事と考えて宜しいでしょうか。 防火区画貫通部補修は建築/電気/機械との表記があるため新設時の隙間穴埋め補修は各業者との認識でよろしいでしょうか。	本工事です。
16	M-003 M-012 M-013 M-014	通り芯X5の壁は防火区画とし、貫通部にFDは必要ないでしょうか。 (1階2箇所、2階2箇所、3階4箇所REA貫通箇所)	防火区画壁ではありません。
17	M-013	外壁取付の冷媒たて管、ダクトたて管、ベントキャップ取付け用外部足場は建築工事と考えて宜しいでしょうか。 (外壁改修、貫通部防水工事は建築工事のため)	その通りです。
18	M-013	薄切り室、分析室にあるドラフトチャンバーへの外気取入れダクト、および排気ダクトは低圧ダクト仕様で宜しいでしょうか。	その通りです。

質 疑 回 答 書

令和 2年 8月20日

工事名称: 佐賀大学(鍋島1)動物・RI実験施設改修その他機械設備工事

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
19	M-012、013	X3-4、Y4-5通りのDS内は2、3階に床があるのでしょうか。2、3階に床がある場合、新設ダクトの床開口補強、既設ダクト部の穴埋め復旧は建築工事として宜しいのでしょうか。	床はありません。
20	-	2階の壁に出入用の開口は有りますでしょうか。 DS内に床が無い場合、DS内の1階床上から3F床レベルまでの作業用足場は建築工事として宜しいのでしょうか。	2階床に開口があります。足場についてはその通りです。
21	M-037、038	撤去機器(AR、AC-1、2、RR-20)の冷媒種別と充填量を御提示願います。	R-22が106.4kgです。
22	M-066、067	前置槽、第1貯留槽～第6貯留槽の撤去は建築工事、第7貯留槽、希釈層は設備工事と考えて宜しいのでしょうか。	その通りです。
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			

数量書質疑回答書

注) 本質疑回答書は数量書(参考数量)に対しての質疑回答書であり設計図書の一部ではない。

令和 2年 8月20日

工事名称: 佐賀大学(鍋島1)動物・RI実験施設改修その他機械設備工事

番号	工番号	工種	質 疑 事 項	回 答
1	I-11②	撤去工事	別紙明細 P21 保温内訳数量の屋内一般 蒸気管(往)屋外露出50A 8m 2ヶ所がP16 蒸気管(往)の数量に見当たりません。ご指示ください。	保温のみの撤去です。
2	I-11②	撤去工事	別紙明細 P21 保温内訳数量の屋内一般蒸気管(還)屋外露出25A 8mがP16蒸気管(還)の数量に見当たりません。ご指示ください。	保温のみの撤去です。
3	I-5②	給水設備	別紙明細 P11 保温内訳の床下・暗渠内 80A 26mがP6 給水管の数量に見当たりません。ご指示ください。	数量書の給水管60Aは誤りで、80Aが正解です。
4	I-7	給湯設備	数量書 P8 給湯設備の仕切弁が17個と記載されていますが、図面では見当たりません。ご指示ください。	数量書の17個が1個の誤りです。
5	I-5	給水設備	図面番号 M-026, 029 系統図と平面詳細図に量水器40Aが2ヶ記載ありますが、数量書には記載ありません。ご指示ください。	図面が正です。
6	I-1(2)	空調調和設備	数量書 P2 スパイラルダクト亜鉛鉄板100φ 4m ² と記載されていますが、図面では見当たりません。ご指示ください。	数量書が誤りです。100φ 4mはありません。
7	I-2-(2)⑤	換気設備	図面番号 M-012 平面図にVD250×200 1ヶとFD450×350塩ビライニング製 1ヶ 記載がありますが数量書には記載ありません。ご指示ください。	数量書のVD250×200がVD200×200の誤り、FD450×350塩ビライニング製1個が未計上です。
8	I-2-(2)⑤	換気設備	図面番号 M-011, M-014 系統図と機械室詳細図にCD200φ 塩ビライニング製が4ヶ記載ありますが、数量書には1ヶしか記載がありません。ご指示ください。	図面と数量書は整合しています。(4ヶ所)
9				
10				
11				